



一般社団法人 東員町文化協会 広報



第94号

令和3年9月発行



春の文協まつり「芸能祭」より

特別寄稿



一般社団法人東員町文化協会
会長 大貫 正博

昭和から平成、そして令和の時代へと元号が変わり、終戦から七十数年が経とうとしています。昭和生まれの団塊世代としては、ゆつたりと流れる生活が恋しいのですが、時代の流れでしようか、長い時間をかけて作られた様々な事柄や価値観が大きく変わろうとしています。インターネットが普及して様々なことが瞬時に可能になり、出社をせずにオンラインで仕事、飲み会、買い物なんでも可能な時代になってきています。

今までの文化活動は人との繋がりが大切で、構築には時間がかかるものでしたが、現在は即座に答えが出てくる時代になりました。将来はどのような形になってゆくのか想像も出来ませんが、いつの世も環境の変化について行く心構えと柔軟な考えは必要であり、それが生きながらえる術ではないかと思えます。特にコロナ禍においては、文化にとっては厳しい逆境でありますが、思考の変換は重要であり、何事も前向きにとらえることが肝要かと思えます。

今回から予算の都合により広報誌「ひばり」の紙面が変わり質素になりました。長らく大井参与が広告賛助会員の募集にご尽力いただき、多くの会社や個人の皆様方のご協力により素晴らしい広報誌を発行することができましたこと、深く感謝申し上げます。

そして、歴代の編集委員の皆さん方にも大変ご協力いただきましたこと、重ね重ね有難うございました。当文化協会は、町民文化継続のため努力をしていきますので、皆様方の一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。

略歴

平成六年文化協会理事就任 平成二十一年同会長就任
平成三年～令和元年 飛龍東員太鼓代表
平成二十一年～東員町総合文化センター運営審議会委員
第五次・六次東員町総合計画策定審議会委員

文協まつり

令和3年3月10日(水)～14日(日)
於 東員町総合文化センター特設会場

第28回春の文協まつりを終えて

春の足音とともに梅の花が咲き誇る季節になってまいりました。前年度はコロナ禍で中止になりましたが、本年度は社会教育課の助言のもと感染予防対策を徹底して開催することとなりました。搬入、搬出は密を避けるため3回にわけて少人数で展示を行いました。また開催中、文化センター入口で来場者に検温等を行いました。

本年度の展示数は388点で出展を控えられた団体もありました。2年ぶりの文協まつりは力作ばかりで来場者の皆様も十分楽しんでいただけたのではないかと自画自賛している次第です。関係者の皆様また来場して頂きました皆様、感染予防にご協力頂きましてありがとうございました。おかげさまで無事終わることができました。重ねて有難うございました。

展示プロジェクトチームリーダー 川島 絹枝

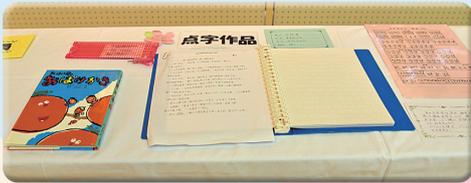
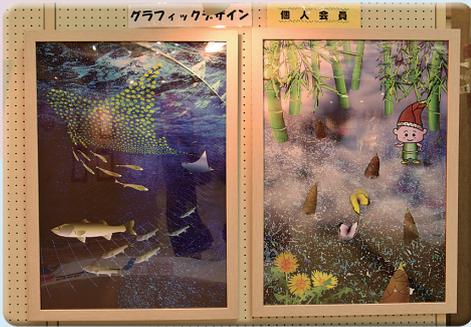


目次

特別寄稿	1
第28回春の文協まつり加盟団体構成会会員作品展	2
公民館講座卒業生作品展・個人会員作品展	3
第28回芸能祭	4
令和三年度通常総会(書面議決)報告他	5
連載続々・歴史よもやま話	6
活動このごろ	7
法人賛助・個人賛助、理事研修	10
会員の文芸作品(しゃくやく俳句会・中部短歌会東員支部)	11
第54回東員町文化祭予告	12
編集後記	12

第28回 春の

個人会員



五輪の図



公民館講座



第28回

春の 芸能祭

2021.3.14(日)
於:ひばりホール

芸能祭実行委員長

中村 厚子

第28回春の芸能祭を終えて
コロナ禍の中開催できる
のか、事業委員会や各団体
と検討を重ねた結果、適切
な感染症対策を行なったう
えで例年より時間を短縮し
て開催する事となりました。
日ごろの練習の成果を發
表する場ができたことと、
皆様方のご理解とご協力に
深く感謝いたします。



一般社団法人 東員町文化協会
令和3年度役員名簿

役職名	氏名
会長	大貫 正博
副会長	川松 由喜子
専務理事	平野 義人
常務理事	中村 厚子
常務理事	水原 敏郎
常務理事	吉田 幸子
理事	青木 はつえ
理事	石垣 典夫
理事	大塚 芳子
理事	加藤 八重子
理事	川島 絹枝
理事	川村 光男
理事	佐藤 和寿
理事	佐分 親
理事	鷺見 三重子
理事	藤田 廣子
理事	山下 順子
理事	小川 義文
理事	水谷 智子
理事	森田 えみ子
監事	赤木 昭一
監事	木村 英明

令和3年度通常総会(書面議決)の
議決権行使書結果

令和3年3月19日(金)の第5回理事会で、5月15日(土)の令和3年度通常総会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のために中止と決定し、書面議決となりました。以下はその議決権行使書結果です。

議決権のある会員総数 570名、総会員の議決権の数 570個
議決権を行使した会員数 435名、この議決権の総数 435個

議案 議案名	賛成	反対	無効
第1号 令和2年度事業報告の件	432	1	2
第2号 令和2年度収支決算報告承認の件	432	1	2
第3号 令和3年度事業計画(案)承認の件	432	1	2
第4号 令和3年度収支予算(案)承認の件	432	1	2
第5号 定款変更(案)承認の件	431	2	2
第6号 会長専決事項委任承認の件	431	2	2

決議は、本協会定款第19条に基づいて行いました。上記の第5号議案は議決権を行使した議決権の3分の2以上の多数、それ以外の第1, 2, 3, 4, 6号議案は議決権を行使した議決権の過半数を持って行うことによって、第1号から第6号議案まですべての議案が可決承認されました。

注：3分の2以上290以上、過半数218以上

大井弘久さんに感謝状

5月15日(土)の第1回理事会にて本協会前参与の大井弘久さんに大貫会長から感謝状と記念品の贈呈がありました。

広報「ひばり」の賛助広告に16年間にわたり多大のご尽力をさせていただきました。感謝に堪えません。



令和3年度文化協会事業計画

事業名	開催予定時期(令和3年4月~令和4年3月)	
1) 総会	書面議決	
2) 東員町公民館講座 (町委託・主管事業)	前期 令和3年6月~10月	
	通期 令和3年6月~令和4年3月	
	後期 令和3年11月~令和4年3月	
3) 東員町文化祭 (町委託・主管事業)	令和3年10月30日(土)~11月7日(日) (11月2日(火) 休館日)	
	①展示 前期 10月30日(土)~11月3日(水・祝)	
	後期 11月4日(木)~11月7日(日)	
②大茶会	11月3日(水・祝)	
	③囲碁大会	11月14日(日)
		4) 春の文協まつり 令和4年3月9日(水)~13日(日)
①展示	通期 3月9日(水)~13日(日)	
②芸能祭(秋・春合同開催)	3月13日(日)	
③大茶会	3月12日(土)	
④囲碁大会	3月6日(日)	
5) 理事研修会	令和3年6月~10月ごろ	
6) 広報誌ひばり発行	令和3年9月と令和4年2月 (年2回)	

続々・歴史よもやま話

其の巻

猪名部神社
宮司 石垣 光磨

三会堂ビルからの招待状

員弁の皆様へ

今年3月に農林水産奨励会の北原俊美事務局長から、次のような連絡をいただきました。「昨日の理事会、評議員会で念願の三会堂ビルの建て替えが承認されました。竣工はまだ先ですが令和9年8月を予定しています。近況をご報告したいと思いますが、コロナが落ち着いたらと考えております。取り急ぎご報告まで。」

これまで文化協会広報「ひばり」に三度にわたって登場してきた石垣隈太郎の三会堂ビルが、いよいよ建て替えられることとなりました。

ここで改めて、「石垣隈太郎」と「三会堂ビル」について綴らせていただき、新たな歴史との出会いにつながれば幸いです。

北原俊美さんは長野県の観光大使をされており、今年、春の叙勲で旭日瑞宝章を受賞されました。

「日本で最も美しい村」長野県高遠町のご出身で、全国組織「高遠会」の会長をされている人望の厚い方です。昭和43年農林省入省、平成16年近畿農政局総務部長、18年大臣官房秘書課人事調査官を歴任され、農林水産奨励会を事務局長として牽引してこられました。

また、東員町の「大社祭」に毎年参列を賜り、石垣隈太郎の生まれ故郷として、員弁には熱いエールを送っていたいておりました。

実は、北原さんは今年6月事務局長を退任され、

後輩に後を託されました。しかし、東員町への思いは熱く、今後も週三日は三会堂ビルに通われるそうです。

「日本の水産王」「起業家の神様」

石垣隈太郎

石垣隈太郎は安政6（1859）年4月8日、伊勢国員弁郡大社村（東員町北大社）に石垣九右衛門の三男として生まれ、明治7年14歳で故郷をあとに横浜に向かいました。三菱会社の給仕として修業時代を過ごし、航海技術を覚えました。

岩崎弥太郎没後の明治22年、30歳で日本郵船を退社し、自ら北洋漁業を切り拓き、海運業に身を投じます。その後、遠洋漁業の先駆者として「水産王」と称せられ、サケマス漁業、北水舎（ラムネ製造）、輸出食料品（株）、東洋製缶（株）合名会社林鉄工所など「起業家の神様」として、我が国の近代化の先駆者となっていったのです。

三会堂ビルは隈太郎の遺品

隈太郎の数々の偉業のなかでも「関東大震災」での復興支援は人道の鑑でした。

孤児院や農林水産業界への寄附を常日頃から心がけていた隈太郎は、関東大震災（大正12年9月1日）の国難に、私財も命も投げ打つ覚悟で、巨額の寄附と組織「農林水産奨励会」、そして建物「三会堂ビル」を寄進されました。

今回の建て替え総額三百億円では「まだまだお

つりがあります」と関係者の方々が口をそろえておられますので、驚きを通り越して言葉がありません。隈太郎が一番喜んでるのは、あの東日本大震災で「復興庁」が、この三会堂ビルに設けられたこと。

隈太郎の命がけの思いは今の世も生きているのです。

三会堂ビルからの招待状

このように東員町に深くかわる組織「農林水産奨励会」、建物「三会堂ビル」、文化財「石垣隈太郎像」を引き続き国の宝としてお守りいただくことを有難く思います。また、できることなら、可能であるなら、三会堂ビルの石垣隈太郎像を4年の間だけでも、員弁に帰郷できないものかと思えます。時空を超えて今も生き続けている隈太郎の偉業を「誇り」に思い「感謝」の念に堪えません。

「東員町、いなべ市の皆様が三会堂ビルに来ていただけるのを歓迎いたします。

今このビルは計画では、令和5年4月から解体します。ですので、それまでの間、コロナが落ち着いたら、是非、お出掛けください」（北原俊美）



石垣 隈太郎

陶芸第一クラブ

陶芸第一クラブ所属の松野 宏さん（笹尾西）が第71回みえ県展「工芸部門」で最優秀賞に選ばれました。

松野 宏さんのコメントと受賞作品

今回の受賞について

新型コロナの影響で中止。しかし、今年は関係者方々の努力によって開催され感謝しています。

みえ県展に応募のきっかけは、弟が写真部門で入選したことに端を発しています。

清水酔月先生に師事し、定年退職後の趣味として始めた陶芸、自由の創作に魅力を感じつつの日々。受賞作品はまず巻貝の製作、次いで物足りなさを補填（ヤドカリ）製作となった次第です。更に数を増やし、くしくも世情の“多様性”に心ひかれ、多様な巻貝（右・左巻・色調）と、右・左利きのヤドカリを追加して“多様な仲間”とした次第です。

今回の受賞は審査員の方々と作者の意図が一致した結果だと思っています。ちなみに、手足関節ごと動くんですよ！。



写遊人

「撮影勉強懇談会及び作品発表展示会」

毎月勉強会懇談会開催、通期作品展

会員写真作品発表会を毎月開催し、更に情報交換や撮影技術向上勉強会も行いました。

写遊人ギャラリーで展示発表しました。下記の2か所で計約70点の作品を発表展示しました。

- ①多度町古野ふれあい広場「岩や姫」 ②多度町小山「神馬の湯」



活動このごろ

笹尾吟詩会

勉強会

毎週金曜日午後

於 笹尾コミュニティセンター

全ての詩吟発表会や行事が、まだ中止になっている現状ですが、笹尾吟詩会は、自由に発表できる日を夢見
て勉強会（練習会）を開始しています。

東員フォトクラブ

写真展

1/5(火)~2/26(金)

於 中京銀行西桑名支店 ロビー

会員が撮影した風景、行事などを半切、全紙のサイズで展示しました。

展示期間は2か月になるので、1月末には作品の入れ替えを行います。



箏曲麗明社「廣翔会」

第17回新春六華苑祭

1/17(日)

於 六華苑和館(一の間)

コロナ禍の中で厳しい状況でしたが、感染対策がしっかり行われ開催されました。「つち人形」「黒田節」「桜 i n g」3曲演奏できて良かったです。



箏曲・三絃グループ「箏奏」

東員町音楽祭

2/7(日)

於 東員町総合文化センターひばりホール

お箏合奏



東員書道クラブ

'21 八千代展

6/19(土)20(日)

於 くわなメディアライヴ

書芸八千代会の会員による作品展が開催されました。約120点ほどの額・軸作品が展示され、2日間で500名を越える来場者を迎え、盛況裡に終わることができました。



バトンメイツフェニックス

第16回三重県バトントワーリング大会
7/4(土)
於 ヤマモリ体育館(桑名市体育館)

コロナ感染症対策を徹底しながらの開催となりましたが、選手一同、練習の成果を十分発揮し、楽しく大会を終えることができました。次の目標に向かってまた頑張ります。応援よろしくお願いいたします。



楽絵筆

第13回楽絵筆グループ展
7/7(水)~7/11(日)
於 東員町総合文化センター2F展示室

楽絵筆のグループ作品展として年1回定期的に開催しております。

今回は年間を通して制作した静物画、風景画など79点を出品。

中でも各人の自画像は来場者の好評を得ました。



新加盟団体紹介

中部短歌会東員支部

目的—歴史と人と歌の関係を学ぶことを目的とする短歌の愛好者の集いの場です。中部短歌会主幹の大塚寅彦氏の来場は年に二回です。

団体名称—中部短歌会東員支部
代表者—富田博一 (76-6835)

例会日—毎月第一土曜日(基本的に)

時間—午前9時から正午

会場—笹尾コミュニティセンター

詠草—例会の二日前までに四首提出

歌会方法—相互歌評ののち代表者が歌をまとめる。司会者は順番制

短歌大会—各地の短歌大会に積極参加

その他—すでに短歌を学んでいる方や短歌とはどういうものか知りたいという方は、気楽に例会を見学して下さい。(富田 博一)



写遊人

東員写遊人は、約15年前に発足致しました。屋外撮影活動により健康増進と美しい風景を発見し撮影を行う事により視神経の活性化が図られると言われております。その様な訳で自宅に引き籠る事無く戸外で運動を補助する為に写真撮影を利用し活動するグループです。

毎月の初めに総合文化センターやふれあいセンターで写真懇談会と作品勉強会を開催しています。更に、写真作品を写遊人ギャラリーで常設展示を年間通じて行っています。作品は、東員町は当然ながら三重県北部の美しい風景を中心に撮影し作品としています。

参加者を常時募集しています。見学も歓迎いたします。お立ち寄り頂ければ、嬉しく存じ上げます。

(小池 利隆)



令和3年度 賛助会員

(令和3年8月20日現在)

ご支援
ありがとうございます

法人賛助会員 (地区別50音順)

穴太

伊藤土建(株)
医療法人 大仲会 大仲さつき会
(株)巧建社
医療法人 康誠会 東員病院

大木

岩田歯科医院
杉山金属(株)
豊通ヴィーテクス(株)

笹尾東

(株)中京銀行 西桑名支店
和菓子処 月乃屋
(株)リード・ガイロピカ

城山

(有)中部キカイサービス
中島歯科医院
野尻内科
モリワキ薬局
和気国際特許事務所

瀬古泉

(有)廣嶋製作所

筑紫

(有)サトー工業

鳥取

桑名三重信用金庫 員弁支店

南大社

一色建設(株)
(有)中山モータース

山田

(株)ADEKA 三重工場
カフェレスト(株) ラフィーネ
大起産業(株)
(株)みつわポンプ製作所

六把野新田

美容室 APPEAR
伊藤商事(有)
岩花内科
(株)キョクナンドー 員弁支店
宅老所 紫苑
みどり歯科医院
横村医院

その他 (三重県)

(一社)いなべ市観光協会
音楽堂楽器
(株)カキトー
共栄堂印刷(株)
(株)山水園
八風バス(株)
(株)ほくせい
三重県舞台管理事業協同組合
三重交通(株)桑名営業所
茶道具 遊芽屋
(株)ラッキータウンテレビ
(株)レイステージ桑名

その他 (愛知県)

堀田新五郎商店



個人賛助会員 (50音順)

安藤修平	大倉美里	島田正彦	平野義人	水谷喜和
石垣智矢	大谷勝治	中村明彦	広田久男	山崎まゆみ
伊藤真実子	岡野譲治	中村等	三浦信一	山本陽一郎
岩佐力(克子)	加藤八重子	南部まり子	三宅徹也	渡辺良男
大井弘久	川松由喜子	南部豊	水谷隆	

令和3年度

東員町文化協会

理事研修



令和3年7月17日(土)に東員町総合文化センター1階第1研修室にて、「いのちの言葉プロジェクト代表」で本協会理事でもある鷺見三重子様の「命の話」の講演に理事・監事15名が参加しました。今から24年前に長男の拓也さんが16歳で交通事故死されました。病院に運ばれたあとの集中治療室での出来事、2週間後に天国に旅立たれたことやご自分や長女・父親の喪失感や悲しみなどを時系列で話されました。裁判所で証言された「拓也は自分のためにも生きてきたが、ひとのためにも生きてきた」が自らの使命感の原点ともなったようです。

平成13年に東京で始まった「いのちのメッセージ展」を4年後に三重県の津市で高校生50人と共に実施できたことや「いのちの授業」、「いのちの灯り展」、「人形劇(しあわせの種)」を紹介されました。

本日の講演は、いのちが、いかに重くて、大切なのかを考える貴重な機会を与えてくださり、こころが浄化された素晴らしい研修になりました。

中部短歌会 東員支部 詠草九首

○雲ひくき空にくぐもる鳩の声ときにま近くときには遠く

中村トミコ

○「俱会一処」墓石に記す言の葉は吾が想ひを子らに伝へむ

早川 進治

○竹藪のしげみに見つく野薊の紅紫がほのかうかぶを

加藤 貴代

○じゃがいもって八方美人ね七変化ぐいっとビールにポテトチップス

川合 孝子

○もらいたる破竹の節に籠りたる幼虫が蛾への変身を待つ

杉本まゆみ

○フード付きTシャツを手に十年目娘のデザインは夏をつかんだ

山田由紀子

○子供らの支えのありて吾が生きるなんともはやにあらあらかしこ

山田百合子

○青葉雨したたる窓べ君病みて再入院の今朝がた決まる

小森 逸子

○時代劇ファンのわれは少数派チャンネル権のなき夕餉時

富田 博一

しやくやく俳句会

どこまでも基地の金網花ゆうな

国枝 隆生

自註 沖縄へ出かけた時の句。今でも至るところに米軍基地がある。

一方、花ゆうなは芙蓉に似た沖縄の花で、可憐であるのに基地に咲いているのを見るのが哀しい現実である。

俳句総合誌で、ある俳人から平成を代表する三句のうち的一句に挙げられた。

芹の水跳んで古墳へ近づけり

国枝 洋子

自註 春浅い明日香へ吟行に行った折の句。

明日香には古墳が多く、渡り歩く楽しみがある。

畦道を跳び越えて、近道したり童心に帰っての散策だった。

俳人協会愛知支部春の大会で大会賞を頂いた句。



第54回 東員町文化祭

期間 令和3年10月30日(土)～11月7日(日)

場所 東員町総合文化センター

※11月2日(火)は休館日です。

町民の皆さんや公民館講座受講生、(一社)東員町文化協会会員、学童などの作品展示と様々な文化活動の発表を行います。

また学校作品展として小学生・中学生の作品も展示されます。

お誘い合わせのうえ、ご来場ください。

*来場される方は、必ずマスクを着用していただきますようお願いいたします。なお、新型コロナウイルス感染拡大防止の為、急遽開催を取りやめる事がありますのであしからずご了承ください。

■主催 東員町・東員町教育委員会

■主管 一般社団法人 東員町文化協会

■お問い合わせ (一社)東員町文化協会 ☎76-7711

オープニング式典

10月30日(土)

時間 13:00～

場所 東員町総合文化センター 玄関前
*式典終了後、箏曲・三絃グループ「箏奏」による演奏

学校作品展

期間 10月30日(土)～11月7日(日)
※2日(火)は休館

時間 9:00～17:00

場所 東員町総合文化センター 特設展示場

作品展

期間 10月30日(土)～11月7日(日)
11月2日(火)は休館

前期 10月30日(土)～11月3日(水・祝)

後期 11月4日(木)～11月7日(日)

生花展 11月4日(木)～11月7日(日)

時間 9:00～17:00(各期とも初日は13:00～
最終日は15:30まで)

場所 東員町総合文化センター 特設展示場

展示内容

- 一般応募と文化協会会員作品
絵画・陶芸・彫塑・短歌・俳句・生花
書道・服飾・手芸・工芸・写真・その他
- 公民館講座卒業作品・学童作品展
(展示内容は作品応募状況により変更になる場合があります)

大茶会(抹茶)

日時 11月3日(水・祝) 10:00～15:00

場所 東員町総合文化センター 和室前の庭園

参加費 茶券 一般 500円
学生・子ども 300円

(文化協会事務局で販売) 当日券あり

囲碁大会

日時 11月14日(日) 10:00～
(受付9:00～)

場所 東員町総合文化センター内

参加費 大人 2,000円(女性1,500円) 昼食付
(文化協会会員1,000円)
小・中・高生 1,000円
(当日会場でお支払いください)

問い合わせ先 平田 ☎090-4183-2725

(広報委員)

編集担当 石垣 典夫・川松 由喜子・平野 義人

ホームページ担当 照井 亮平

発行 一般社団法人 東員町文化協会
三重県員弁郡東員町山田1700
東員町総合文化センター内
TEL 0594-76-7711
FAX 0594-76-2888
E-mail info@toin-ca.org
http://www.toin-ca.org



編集後記

新型コロナウイルスの感染拡大で先行きは不透明ですが、昨年の文化祭は作品展示のみの開催でしたが、第54回東員町文化祭は8月現在、オープニング式典、大茶会、囲碁大会も実施する予定で準備しております。さて、当広報誌は、第94号から賛助広告なし、東員町内の各戸配布なしとさせていただきました。一部編集内容も変更しました。広報誌の配布先は、会員、賛助会員、関係機関ですが、東員町総合文化センターなどに置かせていただきます。希望される方はご利用ください。(平野義人)